

# 施策評価シート(平成29年度)

(基本施策の大綱) 5. 市民力・地域力の活性化

(基本施策) (2)市民参画・協働の推進と多様な交流活動の促進

(評価担当者)

生活文化部長

佐久間 利夫

## ■基本施策が目指す姿

多様な主体が、参画・協働してまちづくりに取り組み、交流により活発な活動を行っています。

## ■関連する分野別計画

## ■成果指標

	単位	現状値		実績値					目標値	
				H29	H30	H31	H32	H33		
1	かめやま若者未来会議の登録者数(累計)	人	35	H28	43					60
2	市ホームページのトップページアクセス数	人	588,177	H27	689,387					620,000
3	協働事業提案制度の実施件数(累計)	件	22	H28	23					27
4	移住相談後の移住件数	件	0	H28	0					30
5										

## ■市民アンケート調査

項目	現状値 [H27]	1次 [H30]	2次 [H32]	市民アンケートの考察
1 行政情報を市民が入手しやすい仕組みが整っている	重要度	0.97		/
	満足度	▲ 0.08		
2 市政やまちづくりに市民が参加している	重要度	0.88		
	満足度	▲ 0.07		
3 身近な地域住民同士の活動が活発に行われている	重要度	0.82		
	満足度	▲ 0.11		
4 ボランティア活動が活発に行われている	重要度	0.82		
	満足度	▲ 0.21		
5	重要度			
	満足度			

## ■総合評価

総合判定	左記の総合判定とした理由
<b>B</b>	<p>市民活動団体への支援や市民参画協働事業については概ね施策の推進を図ることができた。また、かめやま若者未来会議は、市内の行事への出展や先進地の視察を行うなど、今後の事業展開につながる活動ができた。ただ、移住交流の促進においては、学生奨学金返還支援事業の実施ができなかったこともありC判定としているものの、成果指標として設定している4指標のうち、3指標では順調に推移しており、基本施策の目指す姿である「多様な主体が、参画・協働してまちづくりに取り組み、交流により活発な活動を行っています。」に向けて前進していることから、総合判定をBとした。</p> <p>まずは進んでいる</p>
<b>反省点・課題</b>	
<p>全体として市民活動の活性化を支援する市民活動応援券の活用は進んではいるが、各地域まちづくり協議会での使用率に差があったり、市民間や団体間での応援券の循環が期待どおりに進んでいないという課題がある。</p> <p>一方、まちづくりへの市民参画・協働を進めるうえでは、市民と行政が情報を共有し、課題に対する認識を共有することが不可欠で、近年のスマートフォンの普及に伴って、市ホームページへのアクセス数が大きく増加するなか、行政として、ホームページからの情報発信を重視し、より分かりやすいものに改善していく必要がある。</p>	

## 今後の展開方針

今後の多様な市民ニーズに対応していくには、市民参画・協働によるまちづくりを積極的に進めていく必要がある。市独自の制度である市民活動応援制度の実効性をより高めるため、市民活動応援制度審査検証委員会での協議等を踏まえて更なる改善につなげる。

また、市ホームページについては、職員に対する研修を通じて意識の向上を図り、各課のページの状況確認を促すことで、今以上にウェブアクセスしやすさを高め、情報発信の充実に努めていく。

(施策の方向に関する評価)

施策の方向① 市民参画・協働の促進						
(個別判定)	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】	【左記の活動により、施策は推進できているか】				
B まずまず進んでいる	活動 職員に対して協働事業研修を実施し市民活動の必要性や全員参加のまちづくりの意識啓発をした。また、各種計画の策定に際し、パブリックコメント手続きの実施や策定組織への市民参画を進めるとともに、ホームページ、フェイスブックでの新鮮で迅速な情報発信に努め、行政情報番組では、市民アナウンサーの協力を得ながら、タイムリーな話題を含めた番組を制作・放送することができた。一方、若い世代がかめやま若者未来会議を基盤に、市内行事への参画や市民との交流を行った。	評価 左記の活動により、施策は推進できているか 協働事業提案制度における市民提案が1件あり、市民と行政の協働について理解を深めることができた。また、各種計画の策定過程において市民の意見を広く聴くことができ、ホームページのアクセス数増加や本市らしい番組放送により、情報発信の充実が図れた。一方、かめやま若者未来会議を基盤とした若者同士の交流機会が創出できたとともに積極的なまちづくりへの参画に繋がった。				
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	17094	ホームページ情報発信事業	主	7,268 / 7,260	B	B
	17095	行政情報提供事業	主	24,574 / 24,348	A	A
	17096	若者交流推進事業	主	656 / 461	A	A
	2019	広報紙発行費	標	9,000 / 8,957	A	A
	2317	メール配信システム事業	標	1,970 / 1,970	B	B
事業以外の取組	内容				活動	成果
	パブリックコメント手続きの実施				A	A

施策の方向② 市民活動の活性化						
(個別判定)	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】	【左記の活動により、施策は推進できているか】				
A 順調に進んでいる	活動 市民活動応援制度がより充実したものとなるよう審査検証委員会を開催した。また、より多くの市民活動団体が活躍できるよう登録団体冊子の作成、説明会の開催、行政情報番組等で周知した。市民協働センターみらいに市民活動相談日を隔月に1回設置した。市民活動団体の拠点施設である市民協働センターの適正な運営管理に努めた。	評価 左記の活動により、施策は推進できているか 応援券の使用枚数の増加により、登録団体数の増え、市民活動団体の活動の場が広がっていると共に活動資金確保が増している。市民活動の相談を受けることで、市民活動を行うきっかけや活動の継続に繋がった。				
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	17097	市民活動応援事業	主	6,907 / 6,580	A	B
事業以外の取組	内容				活動	成果

施策の方向③ 市民交流・地域間交流の促進						
(個別判定)	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】	【左記の活動により、施策は推進できているか】				
A 順調に進んでいる	活動 市民活動団体と地域まちづくり協議会を繋ぐ市民活動応援制度の積極的な活用を促すため、地域まちづくり協議会に制度の周知を積極的に行った。また、より多くの市民活動団体が活躍できるよう登録団体冊子の作成、説明会の開催、行政情報番組等で周知した。 かめやま文化年2017では、高梁市との間で市民団体による交流が行われた。	評価 左記の活動により、施策は推進できているか 市民活動団体の活動の場が広がり、市民活動団体が地域で活動することで、市民交流が図れた。地域まちづくり協議会が実施するイベントにおいて市民活動団体を積極的に招聘することで、市民活動団体と地域団体との交流が促進された。				
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	17056	かめやま文化年事業	主	19,810 / 17,717	A	B
	17097	市民活動応援事業	主	6,907 / 6,580	A	B
事業以外の取組	内容				活動	成果
	協定締結都市等との交流				A	A

施策の方向④ 移住交流の促進						
(個別判定)	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できているか】			
C あまり進んでいない	活動	本市への移住・定住に向け、子育て世代をターゲットとした専用サイトの充実や特集番組の制作などを通じ、市内外に情報発信を行った。また、東京・大阪などの都市部で開催される移住フェアに参加するとともに、市内を案内する移住体験ツアーを開催するなど、移住希望者への情報発信と相談対応を行った。	評価	「住めば、ゆうゆう。」をキャッチフレーズに、様々な媒体による情報発信や、移住相談窓口を通じた一元的な相談対応などを行ったが、移住相談後の移住には至っていない。また、Uターン促進に向けた取り組みが実施できておらず、移住施策としてはあまり成果は上がっていない。		
				番号	事務事業の名称	区分
関連事業	17098	移住交流促進事業	主	3,178 / 2,422	B	C
	17099	学生奨学金返還支援事業	主	0 / 0	D	D
	17100	シティプロモーション推進事業	主	1,238 / 1,188	B	B
事業以外の取組	内容				活動	成果